



夏休みが終わりました。今年の夏は、昨年以上に暑い日が続きましたね。また地震や台風と自然災害も頻発しました。それをきっかけに避難経路の確認や非常食の確保などを見直す意識が多くの人に広がったのではないのでしょうか。まだまだ残暑が厳しいですが、体調に気をつけながら学校生活を送ってください。

9月に入って、高3の人たちの多くは進学・就職に向けて本格的に試験が始まります。志望理由書しぼうりゆうしょや自己推薦書じこすいせんしょ、面接に関する資料や書籍もありますので、ぜひ図書館に足を運んでみましょう。また、高2・中3の人は10月の研修旅行の調べ学習おおつも大詰めだと思しますので、そちらも参考図書を活用しましょう。

今月のおすすめ

今回紹介する本は、「これだけは知っておこう!」という内容をまとめたものです。この「知らないと恥はじをかく世界の大問題」シリーズは毎年発行されていて、今年で15冊目となります。毎年、その時に知っておくべきことをわかりやすく解説してくれています。今回は「戦争」に着目しています。

日本では終戦から今年で79年となりました。広島・長崎に原爆が投下された8月6日、9日や終戦記念日の8月15日を中心に戦争に関する特集番組が放送されました。しかし、戦争を実体験した人が年々減り、戦争・原爆というものが日本でも遠い昔のことになりつつあります。一方、世界のあちこちでは戦争や紛争らんそうが今も起きています。ロシアとウクライナの戦争は当初の予想に反して今も先が見えない状況です。また、イスラエルとパレスチナの戦いも激化しています。当事者の国だけでなく、それぞれの国の背後にいる国をも巻き込んできています。日本と直接関係なさそうに思っている世界のどこかで起きている出来事が、巡り巡めぐって日本に何らかの影響を及ぼすこともあるのです。この本でそんな世界の大問題を知ってみましょう。



「知らないと恥をかく世界の大問題 15」

池上 彰/著 角川書店/刊